

令和5年11月1日
保健医療福祉推進課

「在宅療養講演会・シンポジウム」の実施報告について

1. 主旨

ACP（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）の意義や在宅療養への理解を深めるとともに、住み慣れた地域で安心して最期を迎えるための「備え」について考える機会を提供するため、在宅療養講演会・シンポジウム「住み慣れた地域で最期まで安心して暮らし続けるために」を開催したので報告する。

2. 実施内容

（1）概要

日時：令和5年9月16日（土）午後2時から午後4時30分まで

会場：玉川区民会館（玉川せせらぎホール）

内容：「住み慣れた地域で最期まで安心して暮らし続けるために」

【第1部】基調講演

講師：向山 晴子（世田谷保健所長）

【第2部】シンポジウム

シンポジスト：佐山 みや子氏（在宅療養を支えたご家族）

山口 潔氏（ふくろうクリニック等々力 院長）

國居 早苗氏（桜新町ナースケア・ステーション 管理者）

小椋 君子氏（ソフィアメディケアプラン二子玉川 管理者）

永嶋 千秋氏（世田谷ホームヘルプサービス 所長）

【その他】学生によるACP啓発ポスター展示 資料2参照

出展：駒澤大学経営学部市場戦略学科 小野瀬拓 教授

小野瀬拓ゼミナール 2・3年生

（2）参加者 75人

3. 受講者アンケート結果

別紙のとおり

在宅療養講演会・シンポジウム アンケート集計

資料1別紙

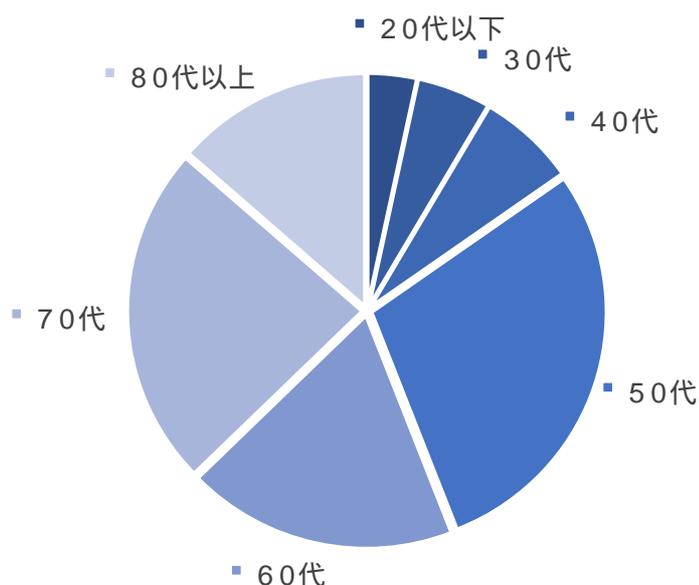
令和5年9月16日

【実施概要】開催日時:令和5年9月16日(土)午後2時から午後4時30分まで

開催場所:玉川区民会館(玉川せせらぎホール)

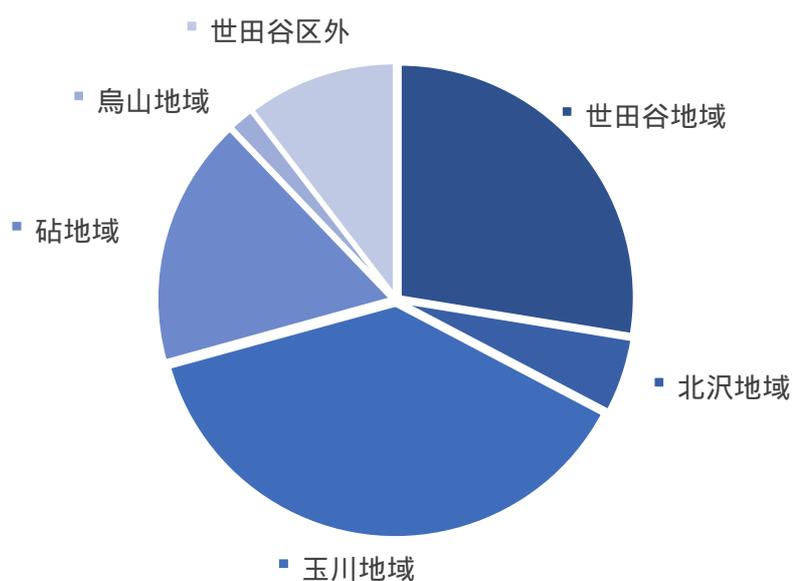
申込件数:74人、参加人数:75人、アンケート回収:59人

1.年代 (回答59件)



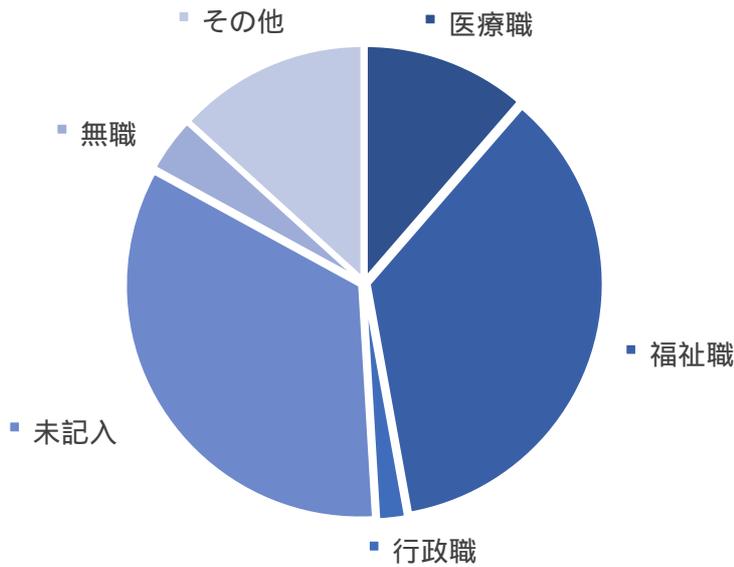
20代以下	2名(3%)
30代	3名(5%)
40代	4名(7%)
50代	17名(29%)
60代	11名(19%)
70代	14名(24%)
80代以上	8名(13%)

2.地域 (回答58件)



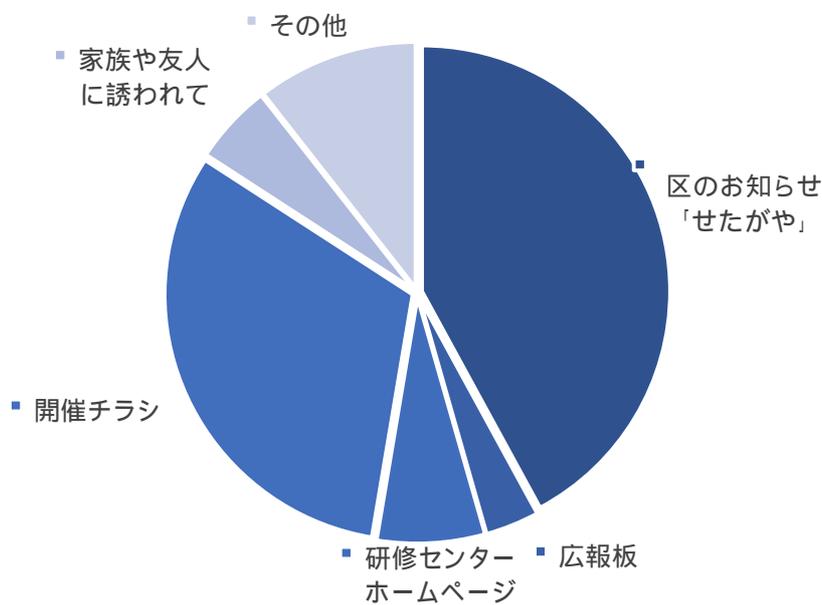
世田谷地域	16名(28%)
北沢地域	3名(5%)
玉川地域	22名(38%)
砧地域	10名(17%)
烏山地域	1名(2%)
世田谷区外	6名(10%)

3. 職業 (回答53件)



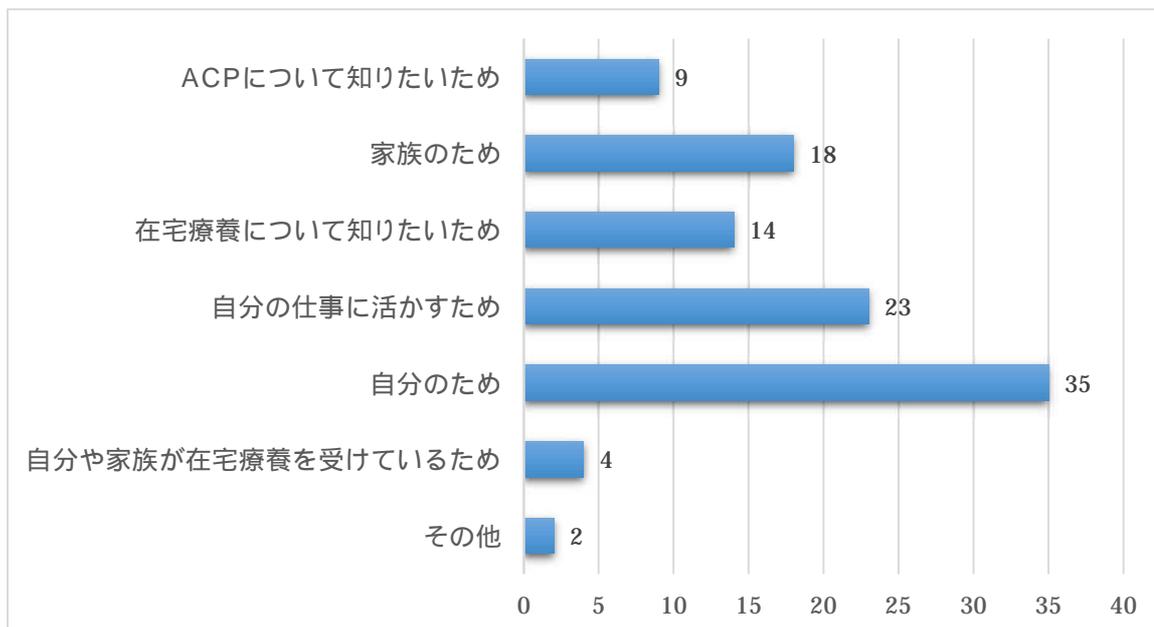
医療職……………6名(11%)
 福祉職……………19名(36%)
 行政職……………1名(2%)
 未記入……………18名(34%)
 無職……………2名(4%)
 その他……………7名(13%)
 【その他内訳】
 ボランティア活動(2)、定年退職(1)、
 会社員(1)、カフェサロンボランティア(1)、
 区民(1)、主婦(1)

4. 在宅療養講演会・シンポジウムを知ったきっかけ (回答57件)



区のお知らせ「せたがや」……………24名(42%)
 広報板……………2名(3%)
 研修センターホームページ……………4名(7%)
 開催チラシ……………18名(32%)
 区 X(旧 Twitter)……………0名(0%)
 研修センター X(旧 Twitter)……………0名(0%)
 家族や友人に誘われて……………3名(5%)
 その他……………6名(11%)
 【その他内訳】
 別件で玉川区民会館に立ち寄った(1)、
 砧ご近所フォーラム(1)、散歩中(1)、
 職場の案内(1)、時間があつたので(1)、
 未記入(1)

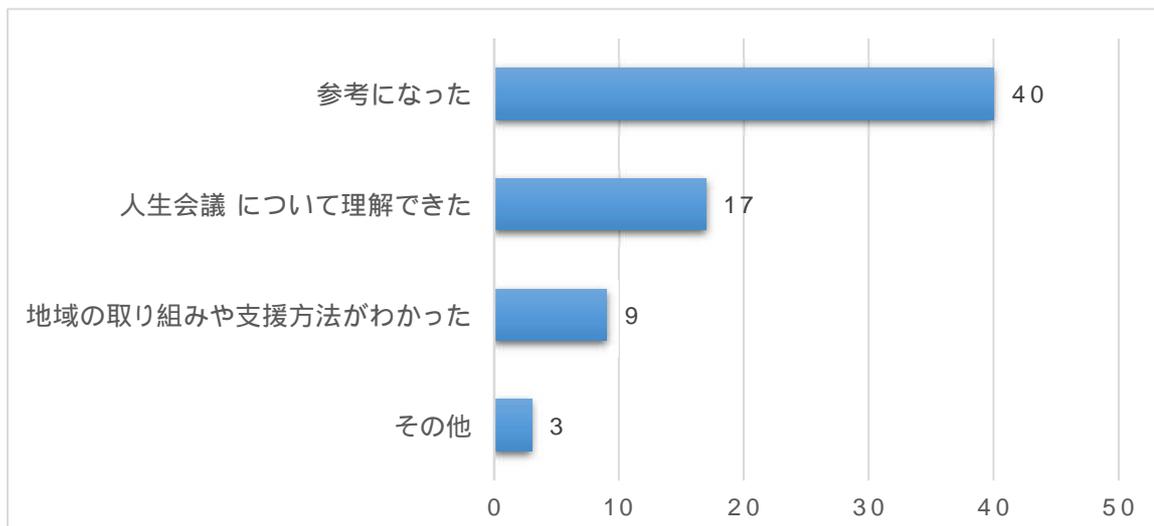
5. 参加した理由 (回答59件)



【その他内訳】

- ・ACP を広めていきたいため、さらに研鑽したい。(1)
- ・周りの高齢者にわかりやすい情報を届けたい。自分も知りたい。(1)

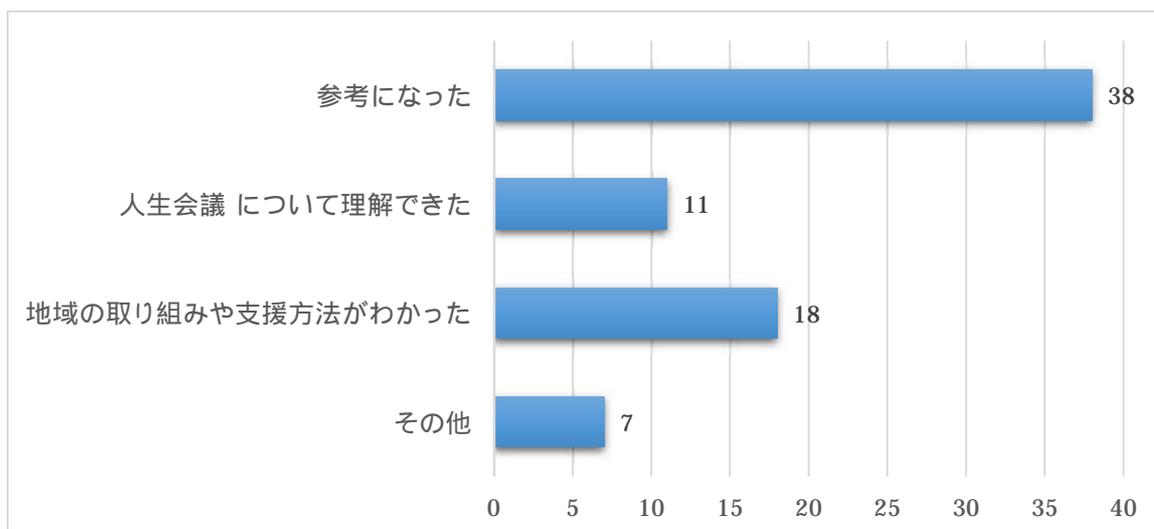
6. 基調講演の内容 (回答51件)



【その他内訳】

- ・具体的な情報がきちんと入っていた。向山所長の司会がポイントをおさえ大変良かった。(1)
- ・やさしくかみくだいて、もう一度きいてみたいです。(1)
- ・未記入(1)

7. シンポジウムの内容（回答53件）



【その他内訳】

- ・各パネリストの方の話、大変参考になりました。語り合うこと、とても大切です。(1)
- ・今までのACP 説明や資料の中で、今日が一番頭と心に染み入り理解できました。(1)
- ・気持ちが楽になった。(1)
- ・ACP の結果、どのような効果がでるか具体的な事例が知りたい。(1)
- ・いろいろなサービスがあることを知ることができました。(1)
- ・幅広い方々のお話を聞くことができて勉強になった。(1)
- ・事例をもっと聞いてみたいです。イメージは大事ですね。(1)

8. ご意見ご感想（回答26件）

【20代以下】

・みなさん、利用者さん達と素敵な関わりをされていることが伝わってきました。特に訪看さんとケアマネさんの事例は在宅ならではだと感じました。最期を在宅で過ごすことが誰にとっても最善という訳ではないと思いますが、在宅でも最期を迎えられるということを知らないと選択できないと思うので、今回のようなシンポジウムは勉強になりました。

【30代】

・シンポジウムではそれぞれの立場から看取りの実際の話を受けて区民の方にもイメージが湧きやすかったと思います。他地域でも講演会を開催してもらいたいです。

【40代】

- ・とても良い時間でした。ありがとうございました。
- ・とても参考になりました。繋がりが大事なのですね。

【50代】

- ・家族で地域で顔の見える中で、いろんな価値観を言葉にして話をしていくことの大切さを感じました。
- ・本日はとても勉強になりました。ACPは実際には堅苦しく考えずに日々気軽につぶやいて伝えることが大切

と思いました。

・最期まで地域で暮らすためには、多方面からの支援が必要で、ご本人がそれを受け入れてくれるよう、早いうちから働きかけていくことが大切だと感じました。とても勉強になりました。

・本人の意思を理解するために言葉にすることが必要だと思った。(元気なうちに)サービスについて知っておく事も必要。勉強になりました。ありがとうございました。

・ACPの啓発、なかなか進まない状況です。誰にも訪れる死を当たり前を受け止められるよう意識改革が必要だと思います。特に身寄りのない独居の方については介護保険導入時や、後期高齢者になった時点でACPを書面で残すなど必要と感じています。これから迎える多死社会に向け重大なテーマだと思います。

・とても役に立ちました。また参加したいです。

・多職種のお話が聞けてよかった。ACPについての必要性を感じ、家族とも話したいと思った。

【60代】

・また同じようなシンポジウムに参加したいです。ありがとうございました。

・今まさにかかりつけ医をさがしているところです。大学病院より、住んでいる地域でさがすようにいられています。今日の話を参考にしたいと思いました。

・地域のサービスの実際を知ることができました。私自身、サービスを提供する立場ですが、サービスを行う中で、ご利用者から多くの学びをいただいています。今日はそのことをとても痛感した時間でした。ACPについてはそんなに体調が悪くない時からいろいろなお話をする中で積み上げていけたらいいと思いました。

【70代】

・10数年前に介護認定がなかなかとれず、家でみてあげることができなくて、入院したまま亡くなってしまいました。今は地域で支えてもらえるようで制度が良くなっている事がよいと思います。

・皆様の御苦勞がよくわかりました。ありがたく感謝いたします。何時か、お世話になると思います。よろしくお願い致します。自宅看護は周りの人の事も考えなければならないので、よく相談して施設か自宅か考えようと思います。ありがとうございました。

・本日は人材をそろえて開いてくださり、有意義な機会をありがとうございました。今日改めて、自分の健康維持と生活向上について考え直し、見直してみたいと思います。

・事業所間の連携で在宅でも病院に劣らぬか、より増して医療介護の支えがあるということがよくわかりました。この講演会は何度でも参加したいと思いました。ビデオの視聴も周りに勧めます。ACP会議ポスターの催しはとても有意義です。

・安心と期待ができました。

【80代以上】

・一人暮らしなので大変参考になった。

・2年前に夫を93才で見送りました。病院で手術、入院からグループホーム、自宅療養。私自身も白内障手術やら大変になりました。介護3になり申し込んでいた世田谷区の施設に入ることができました。よいも悪いもいろいろ勉強させられ、私は自宅で人生終えたいという気持ちが強くなり、今日はその勉強にまいりました。大変参考になりました。

・近所はほとんど老人。周りの人とのつながりがほとんどなくこれでいいのか不安あり、もう少し身近い話し合いができる機会があればと思う。機会を作って欲しい。民生委員の方とも顔を合わせた事なし。ポストにチラシが入っているのみ。こちらから元気と電話している。現在81才 一人暮らし。何かある時どうするか。

・大変勉強になりました。ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

・来てよかった。82才なのでいろいろ勉強になりました。自分にプラスになる話でした。ありがとうございました。